

消費者教育教材

中学校技術・家庭科〈家庭分野〉

よりよい現在と未来を考える食の選択 —消費者市民になろう！—

指導ガイド



発行：浜松市くらしのセンター

制作：公益財団法人消費者教育支援センター

協力：浜松市中家庭科研究部

平成28年2月

監修に寄せて ～持続可能な社会、持続可能な地球

私たちは、市場では安いものを追いかけてしまいがちです。スーパーなどで食品を買うときだけでなく、着るものでも、遊ぶものでも…。買い物に夢中になっているとき、これも欲しい、あれも欲しいとウキウキした気持ちになっているでしょう。そんな時、この商品はどこでどんなふうに作られたのか、生産国の様子などを想像したことがありますか。

私たちが一見豊かな生活を楽しんでいるとき、生産地である途上国では子どもが学校にも行けず原料となる農作物を収穫したり、汗して重たい荷物運びをしている現実を知ることとは大切なことだと思いませんか。

これからの世の中を生き抜いていく若い世代の皆さんに、10年後、20年後、30年後の社会や地球をイメージしてもらいましょう。

国連持続可能な開発サミットでは、SDGs（持続可能な開発目標）に「持続可能な消費と生産」が掲げられました。

いま、世界的に気候変動は著しく地球温暖化は確実に進行しています。2015年12月、COP21では、世界各国が平均気温の上昇を2度以内に抑えるという京都議定書以来の歴史的な国際合意を採択しました。もちろん最大の原因は二酸化炭素の排出ですから、企業もそれを削減するために様々な努力が求められますし、消費者も排出量の少ないものや手段を選択する知恵と行動が必要です。これからの私たちが暮らす社会を、地球を、より公正で持続可能なものとして豊かに創り出していくのは、私たち自身なのです。この教材を通じて、こうした課題を自身の問題として、考え、悩み、発言し、すてきな町「浜松」をデザインしてみてください。

横浜国立大学教育人間科学部教授 西村隆男

目次

1. 消費者教育とは	
(1) 学校における消費者教育	4
(2) 中学校技術・家庭科<家庭分野>における消費者教育	5
資料) 消費者教育体系イメージマップ	6
2. 教材の活用と授業実践について	
(1) 教材キットの内容紹介	7
(2) 教材の特徴	12
1) キット教材の特徴	12
2) ジグソー学習	13
(3) 題材	14
1) 題材名	14
2) 題材目標	14
3) 題材について	14
(4) 身に付ける力	16
1) はままつの教育 未来創造への人づくり	16
2) 中学校技術・家庭科<家庭分野>における協働学習	17
(5) 指導計画	18
1) 中学校技術・家庭科<家庭分野>の中での位置づけ	18
2) 身近な消費生活と環境の指導計画	19
(6) 授業展開	20
1) 授業展開(2時間)	20
2) 展開ごとの教材ツールと授業の様子	21
参考) 板書プランバリエーション	27
3) ワークシート例	28
参考) 生徒が書いたワークシート	32
(7) 評価	34
発展) 本教材と総合的な学習との連携実践例	36
3. 関連情報	
(1) キーワード解説	41
(2) 他の教科との関連性	54
(3) 他の関連する教育との連携	57
(4) 関係課等の取組	63
(5) 保護者との連携等	65

1. 消費者教育とは

(1) 学校における消費者教育

平成 24 年 12 月に消費者教育の推進に関する法律が施行され、消費者教育の一層の推進が求められています。

これまで行われてきた消費者教育は、被害に遭わない消費者を育てるという色彩が強い傾向にありましたが、消費者教育推進法のもとでは、更に一步踏み込んで社会の一員として、よりよい社会とよりよい未来をつくるために主体的に行動する消費者市民を育成することが求められるようになっていきます。

子供たちが家庭で日常的に行う消費は、自分だけでなく、家族、地域、日本、さらには世界のさまざまな人、そしてそれを取り巻く環境に影響を及ぼします。そのことを理解し、自分にとってどうか、他者にとってどうかなど多様で客観的な視点を持って考える力を身につけ、そこから具体的な行動に結びつける力を育むのが消費者教育です。それが未来をつくる子供たちのまさしく生きる力になります。自分たちの生活の裏で、悲しい思いをしている人がいないか、自分の行動が何を引き起こすか、何を変えていくことができるのかを考える機会をつくりたいところです。

消費者教育は特別なものではなく、生徒の実生活に直結した身近な課題そのものが教材となり、消費者教育の視点で日常的な学校での教育活動を見るとさまざまな可能性が広がります。

(2) 中学校技術・家庭科〈家庭分野〉における消費者教育

学校教育においては、幼児、児童及び生徒の「生きる力」を育むことを目指し、生涯にわたり学習する基盤が養われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用し課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の能力を育み、主体的に学習の取り組む態度を養うことを理念としています。これはまさしく消費者教育です。

平成 20 年 21 年に改訂された学習指導要領において、中学校技術・家庭科は、小学校や高等学校の公民科、家庭科とともに消費者教育に関する内容を充実しました。

■ 現行の学習指導要領の家庭分野における消費者教育の内容

- ・自分や家族の消費生活に関心を持ち、消費者の基本的な権利と責任について理解すること。
- ・販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができること
- ・自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫し、実践できること。

上記の学習は、さまざまな学習との関連を図り実践的に学習すること、中学校の身近な消費行動と関連させて扱うよう示されています。この学びが、消費者被害に遭わない消費者、社会の一員として公正で持続可能な社会の実現のため消費者市民社会の形成に積極的に参画する消費者を育むこととなります。

重点領域	各期の特徴		特二教育		成人一教		特一高校生		
	幼児期	小学生期	中学生期	高校生期	特二教育	成人一教	特一高校生	Ver.1.0	
消費者市民社会の構築	消費がもつ影響力の理解	様々な気づきの体験を通じて、家庭や者の回りの物事に関心をもち、それを取り入れる時期	主体的な行動、社会や環境への興味を通じて、消費者としての意識の形成が望まれる時期	行動の範囲が広がり、権利と責任を認識し、トラブル解決方法の理解が望まれる時期	生涯を見通した生活の費遣や計画の重要性、社会的責任を認識し、主体的な判断が望まれる時期	生涯・消費・消費・事業者が連携し、社会に与える影響を考えた行動を身に付けよう	生涯・消費・消費・事業者が連携し、社会に与える影響を考えた行動を身に付けよう	生涯・消費・消費・事業者が連携し、社会に与える影響を考えた行動を身に付けよう	生涯・消費・消費・事業者が連携し、社会に与える影響を考えた行動を身に付けよう
	持続可能な消費の実践	身の回りのものを大切にしよう	自分の生活と身近な環境とのつながりに気づき、物の使い方を工夫しよう	身近な消費者問題及び社会問題の解決や、公正な社会の形成について考えよう	身近な消費者問題及び社会問題の解決や、公正な社会の形成に挑戦し、取り戻すことの重要性を認識しよう	持続可能な社会を目指して、ライフスタイルを考えよう	持続可能な社会を目指したライフスタイルを際せよう	持続可能な社会を目指したライフスタイルを実践しよう	持続可能な社会に役立つライフスタイルについて伝え合おう
	消費者の参画・協働	協力することの大切さを知ろう	身近な消費者問題に目を向けよう	身近な消費者問題及び社会問題の解決や、公正な社会の形成について考えよう	身近な消費者問題及び社会問題の解決や、公正な社会の形成に挑戦し、取り戻すことの重要性を認識しよう	消費者問題その他の社会問題の解決や、公正な社会の形成に向けた行動の場を広げよう	消費者問題その他の社会問題の解決や、公正な社会の形成に挑戦しよう	消費者問題その他の社会問題の解決や、公正な社会の形成に挑戦しよう	消費者問題その他の社会問題の解決や、公正な社会の形成に挑戦しよう
	商品安全の理解と危険を回避する能力	くらしの中の危険や、もののお手入れの仕方について学ぶ	危険を回避し、物を安全に使う手前を知ろう	危険を回避し、物を安全に使う手前を知ろう	危険を回避し、物を安全に使う手前を知ろう	安全で危険の少ないくらしと消費者社会を目指すことの大切さを理解しよう	安全で危険の少ないくらしと消費者社会を目指すことを理解しよう	安全で危険の少ないくらしと消費者社会を目指すことを理解しよう	安全で危険の少ないくらしと消費者社会を目指すことを理解しよう
	トラブル対応能力	困ったことがあったら身近な人に伝えよう	困ったことがあったら身近な人に相談しよう	困ったことがあったら身近な人に相談しよう	困ったことがあったら身近な人に相談しよう	トラブル解決の法律や制度、相談機関を利用しよう	トラブル解決の法律や制度、相談機関を利用しよう	トラブル解決の法律や制度、相談機関を利用しよう	トラブル解決の法律や制度、相談機関を利用しよう
	選択し、契約することへの理解と考える態度	約束やまわりを守ろう	物の買い方、買い方を考えよう	物の買い方、買い方を考えよう	物の買い方、買い方を考えよう	契約の内容・ルールを理解し、くらしに活かそう	契約の内容・ルールを理解し、くらしに活かそう	契約の内容・ルールを理解し、くらしに活かそう	契約の内容・ルールを理解し、くらしに活かそう
	生活を設計・管理する能力	欲しいものがあつたらどきは、よく考え、時には我慢することをおぼえよう	物や金銭の大切さに気づき、計画的な使い方を考えよう	物や金銭の大切さに気づき、計画的な使い方を考えよう	物や金銭の大切さに気づき、計画的な使い方を考えよう	主体的に生活設計を立てて、生涯を見通した生活設計の計画や計画を考えよう	主体的に生活設計を立てて、生涯を見通した生活設計の計画や計画を考えよう	主体的に生活設計を立てて、生涯を見通した生活設計の計画や計画を考えよう	主体的に生活設計を立てて、生涯を見通した生活設計の計画や計画を考えよう
	情報の収集・処理・発信能力	身の回りのさまざまな情報に気づこう	消費に関する情報の集め方や活用の仕方を知ろう	消費に関する情報の集め方や活用の仕方を知ろう	消費に関する情報の集め方や活用の仕方を知ろう	情報と情報技術を適切に利用するくらしをしよう	情報と情報技術を適切に利用するくらしをしよう	情報と情報技術を適切に利用するくらしをしよう	情報と情報技術を適切に利用するくらしをしよう
	情報社会のルールや情報モラルの理解	自分や家族を大切にしよう	自分や他人の個人情報を守ること	自分や他人の個人情報を守ること	自分や他人の個人情報を守ること	情報社会のルールや情報モラルを守る習慣を付けよう	情報社会のルールや情報モラルを守る習慣を付けよう	情報社会のルールや情報モラルを守る習慣を付けよう	情報社会のルールや情報モラルを守る習慣を付けよう
	消費生活情報に対する批判的思考力	身の回りの情報から必要な情報を取り出そう	消費生活情報の目的や特徴、信頼の大切さを知ろう	消費生活情報の目的や特徴、信頼の大切さを知ろう	消費生活情報の目的や特徴、信頼の大切さを知ろう	消費生活情報を主体的に活用する習慣を付けよう	消費生活情報を主体的に活用する習慣を付けよう	消費生活情報を主体的に活用する習慣を付けよう	消費生活情報を主体的に活用する習慣を付けよう

※本イメージマップで示す内容は、学校、家庭、地域における学習内容について体系的に組み立て、理解を促めやすいように整理したものであり、学習指導要領との対応関係を示すものではありません。

2) 生徒グループ用(8グループ分)


教材	サイズ	数量	使用方法
<p>③キーワードカード生徒</p>  <p>③キーワードカード生徒</p>	A5	8種 8セット	リングでまとめる
<p>⑤情報カード生徒</p>  <p>⑤情報カード生徒</p>	A5	4種 8セット	リングでまとめる

3) 教師板書用

教材	サイズ	種類	使用方法
<p style="text-align: center;">② 弁当カード</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="256 409 496 589"> <p>A ファストフード</p>  <p>350円</p> </div> <div data-bbox="826 409 1066 589"> <p>B コンビニ弁当</p>  <p>460円</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="256 611 496 790"> <p>C 地元の食材を使った弁当</p>  <p>530円</p> </div> <div data-bbox="531 611 770 790"> <p>D フェアトレードカフェの弁当</p>  <p>550円</p> </div> </div>	A3	4種	マグネット付
<p>③ キーワードカード教師</p> <div style="display: grid; grid-template-columns: repeat(3, 1fr); gap: 10px;"> <div data-bbox="256 880 411 987"> <p>フードマイレージ</p> <p>食料を運ぶことで生じる環境への影響を表す指標です。(買い・輸送距離×kg)</p> </div> <div data-bbox="446 880 601 987"> <p>食品ロス</p> <p>食べられない状態にまで至り廃棄された食品のことです。</p> </div> <div data-bbox="636 880 778 987"> <p>グリーン・コンシューマー</p> <p>環境問題への意識を高めて消費の責任を担う消費者のことです。</p> </div> <div data-bbox="256 1014 411 1122"> <p>地産地消</p> <p>地元で生産されたものを地元で消費することです。</p> </div> <div data-bbox="446 1014 601 1122"> <p>フェアトレード</p> <p>生産者も、適正な価格で機能的に取引し、生産者の生活と自立を支える仕組みです。</p> </div> <div data-bbox="636 1014 778 1122"> <p>オーガニック</p> <p>農薬や化学肥料に頼らず、太陽・水・土の恵みだけで自然の恵みを生かした農作物を育てる方法です。</p> </div> <div data-bbox="256 1149 411 1256"> <p>エシカル消費</p> <p>人、社会、地球の今と未来の幸せのために、責任を持って買い物をすることです。</p> </div> <div data-bbox="446 1149 601 1256"> <p>スローフード</p> <p>多岐で伝統的な地域の食文化を衰えさせないよう、食生活の質をより良く保ちたいという考え方です。</p> </div> </div>	A4	8種	マグネット付
<p>⑤ 情報カード教師</p> <div style="display: grid; grid-template-columns: repeat(2, 1fr); gap: 10px;"> <div data-bbox="256 1350 496 1529"> <p>情報カード A</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○食材はすべて輸入しています ○どのお店で買っても同じ味、同じ価格です <p>ファストフード 350円</p> </div> <div data-bbox="531 1350 770 1529"> <p>情報カード B</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○類から商品がなくなるように、多めにお弁当を仕入れています ○24時間営業しています <p>コンビニ弁当 460円</p> </div> <div data-bbox="256 1556 496 1736"> <p>情報カード C</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○化学調味料、保存料、添加物を一切使用していません ○障がい者を雇用しています <p>地元の食材を使った弁当 530円</p> </div> <div data-bbox="531 1556 770 1736"> <p>情報カード D</p>  <ul style="list-style-type: none"> ○いりごまは、ニカラガア産のフェアトレード商品です ○地元の野菜を使用し、一部はオーガニックです <p>フェアトレードカフェの弁当 550円</p> </div> </div>	A3	4種	マグネット付

<p>⑥まとめ用フリップ</p> <p>浜松がこうなったらいいな…</p> <p>浜松にあったらいいな…</p> <p>よいよい 現在と未来</p> <p>よいよい浜松</p> <p>健康に暮らす</p> <p>私 自然環境 社会</p> <p>幸せに暮らす 文化を楽しみながら暮らす</p> <p>私 家族 地域の人々</p> <p>浜松の人々 日本の人々 世界の人々</p> <p>私たち 生活者 消費者</p> <p>消費者の選択が社会を変える 消費者としてできることは？</p> <p>消費者市民 公正な社会 持続可能な社会</p>		24点	マグネット付
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	-----	--------

4) 参考掲示用

教材	サイズ	数量	使用方法
<p>③キーワードカード掲示</p> 	A3	8点	必要に応じて教室の壁に掲示し、通年で使用することができる
<p>キーワードカード見出し</p> <p>私たちの生活と社会・自然環境のつながりを考えるキーワード</p>	A4	1点	キーワードカードの見出しとして使用することができる

5)CD データ

データ教材内容一覧	
①ワークシート	Word2013
②弁当カード	PowerPoint2013
③キーワードカード	PowerPoint2013
④考えようシート	PowerPoint2013
⑤情報カード	PowerPoint2013
⑥まとめ用フリップ	Word2013
参考資料	
<ul style="list-style-type: none"> ・弁当写真 ・ジグソー学習の班移動図 ※アニメーション設定あり。スライドショーでご覧ください。	PowerPoint2013 PowerPoint2013
指導ガイド抜粋 (P.20~26)	
①授業展開	Word2013
②展開ごとの教材ツールと授業の様子	Word2013

(2)教材の特徴

1) キット教材の特徴

本教材は、中学校技術・家庭科家庭分野での活用を想定して開発を行いました。このキット教材の特徴は以下の点です。

特徴1：このキット教材を活用することで消費者市民の育成をねらいとする消費者教育が実践できる。

特徴2：板書用のフリップから生徒用のワークシートまで全て準備物が整えられているので、誰もがすぐ授業を実践でき教員の負担軽減にもなる。

特徴3：イラストや写真を多く取り入れており視覚に訴える授業展開をすることができる。

特徴4：ジグソー学習を取り入れグループでの話し合いや発表などのアクティブラーニングの教材となっている。

特徴5：指導ガイドには、授業展開や教材の内容紹介から他教科、他教育などとの連携のための情報まで幅広く掲載し、教材をより深く活用できる取組を紹介している。

2) ジグソー学習

<ねらい>

自分の言葉で説明したり、他人の説明に耳を傾けたり、話し合いの過程で自分の考えを変えたりといった、一連の活動を繰り返すことで、考え方や学び方そのものを学ぶことができる。

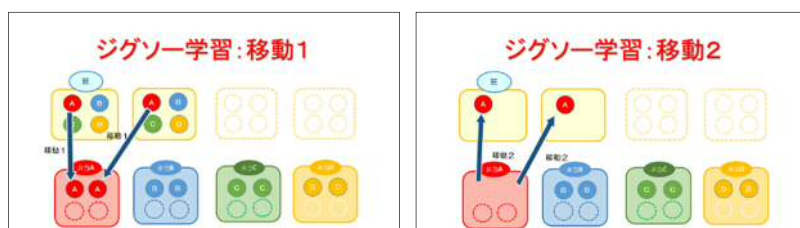
- ①かかわりあう学習の具体的なモデルとして、ジグソーを位置づけ、積極的に意見交換しあう生徒の姿を目指す。
- ②学習の中でも自分の役割を自覚し、自信を持って説明したり、意欲的に話し合ったりする生徒の姿を目指す。
- ③根拠に基づいた理論的思考力を身に付けた生徒の育成を目指す。

<流れ>

まず、4人1組になった上で、各メンバーが担当する弁当のメニューを決め、「弁当」グループで理解を深め、もとのグループに担当した弁当の「専門家」として戻り、お互いに教え合う方法である。教えることができるためには、理解が十分深まっていないといけないことに着目している。最後にクラス全体で理解の確認や討論を行うことが望ましい。

- ① 教員から、学習するテーマ「よりよい現在と未来を考える食の選択」と弁当メニュー(4種)を提示する。
- ② はじめに自分の選択について思いつく答えを書いておく。
- ③ グループ内で各メンバーが担当する弁当メニューを決める。
- ④ **移動1** 同じ弁当を担当する人が集まり、グループをつくる。
- ⑤ 各弁当ごとに、担当する弁当のプラス面、マイナス面を私、社会、環境の視点で話し合い学習を深めるとともに、それを他者に分かりやすく伝える方法を工夫する。
- ⑥ **移動2** 元のグループに戻り、担当した弁当について情報共有する。
- ⑦ 改めて弁当の選択について、自分の考えをまとめる。

移



■ジグソーの班
動図

キット教材に入っている CD に、ジグソー学習の解説（アニメーション）が収録されています。ご活用ください。